

2015-2016 Rotary International District 2540

# GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER

7  
July

## Contents

- |                  |                                        |
|------------------|----------------------------------------|
| 2 宮下ガバナー メッセージ   | 6 ガバナー・ガバナーエレクト・ガバナー補佐・地区役員・委員会委員長 ご紹介 |
| 3 国際ロータリー会長メッセージ | 7 新会員紹介、PHF・MPHF・米山寄付者紹介               |
| 4 遠藤直前ガバナーメッセージ  | 横手南RC50周年報告、ロータリーの友 7月号の情報             |
| 5 ガバナー補佐 ご挨拶     | 8 7月のRIレポート、例会変更、文庫通信、巻頭の言葉            |

ガバナー月信 vol.01  
2015.07.01



Rotary

国際ロータリー第2540地区

ガバナー 宮下 正弘

〒010-0001 秋田県秋田市中通1-3-5 秋田キャッスルホテル103

TEL: 018-827-5161 FAX: 018-827-5162 E-mail: rid2540g15-16@heart.ocn.ne.jp

## いよいよ新年度が始まりました

7月1日、RAVIことK.R. ラビンドランをRI会長に頂いて、いよいよロータリーの新年度が始まりました。

会長のテーマは「世界へのプレゼントになろう!」、その心はこの月信の会長メッセージの中にも熱く語られています。そう、彼は繰り返し言います。私達は誰かに助けられて今がある。沢山の人の力で今がある。その恩返しは誰かを助けることです、と。その思いが“世界のプレゼントに”という言葉に凝縮されています。「プレゼントをする」のはたやすい、しかし「プレゼントになる」のは自らを投げ出し、自らがプレゼントと化す、容易なことではない、そう思います。

いろいろ考えているうちに、同じことを言っている言葉がロータリーに綿々として伝えられていることに気付きました。「超我の奉仕」“Service Above Self”、これです。これは1950年ロータリーのモットーとして公式に採用され、1989年規定審議会によりロータリーの第一標語に指定されています。もとはと言えば1911年ポートランドで開催された第2回大会でB・フランク・コリンズが他人のために尽くす意義と重要性を訴え、ロータリーは“Service, Not Self”を根本精神としなければならないことを強調したのです。その後”Service Above Self”と修正され現在に至っていますが、RAVIは第一標語のこころを、自分の人生の中からくみ取り、自らがプレゼントになろうと言い切ったところに彼の思いが凝縮された独自性がみられ、素晴らしいと思います。

さて、2540地区のテーマとして私が選んだの

は「原点に戻り、仲間を増やし、社会の人あかりに!!」です。「原点に戻り」というのは、困難な時こそ、迷った時こそ原点に戻れ、と言うことです。今秋田県は人口減少率の最も高い県であり、わが2540地区は全国34地区の中で最も会員の少ない地区であります。一時は1,000名を切った時もあったのです。その中で会員数1,100名を地区の最低限とするという2013年RI規定審議会の規定が厳然とあります。一昨年度（佐藤博明ガバナー）、昨年度（遠藤芳徳ガバナー）と地区各クラブと会員増強委員会の活動により、このラインを僅かに越える1,102名で新年度を迎えることができました。しかし薄氷を踏みながら歩いている状態であることは変わりありません。会員各位の努力を多とするものですが、会員増強の過程で超法規的な考えもなかったわけではありません。ここは原点に戻って、ロータリーの基本を踏まえて奉仕活動に取り組み、それによって賛同者を呼び寄せて仲間を増やし、組織の名を高め、ロータリーの存在が地域を良くしゆくことに繋げてゆきたいと考えています。そして会員一人一人が、「人あかり」として社会を照らし、人生を意義あるものにしてゆこうではありませんか。

向こう1年間、よろしく願いいたします。



Miyashita Masahiro

2015-16年度ガバナー 宮下 正弘

## Be a gift to the world 「世界へのプレゼントになろう」



私たちの人生には、いつか終わりが訪れます。しかも、終わりは思ったより早く来るものです。この限られた人生をどのように過ごしたらいいのでしょうか。世界が良い場所となるよう、人のために何かしますか。それとも、インドの著名な詩人、ラビンドラナート・タゴールの言葉のように、「楽器の弦の張替えばかりしていて、肝心の歌を歌わずに」毎日を過ごしますか。

ロータリーの栄光は、まさにその「歌を歌う」道を見つける手助けをしてくれることにあります。人生で本当に大切なことに目を向け、私たち自身が世界への贈り物となる方法を見つけることで、より充実した意義ある人生を送れるよう、私たちを導いてくれるのです。

友人に何を求めるかを考えると、ほとんどの人は、高潔性、信頼性、思いやり、相性を挙げるでしょう。私たちが求める友人とは、必ずしも自分と似通った人ではなく、自分にないものを持っている人、自分のいいところを引き出してくれる人です。私は、ロータリーがその特徴を備えていると思います。

ロータリーは、私たちの資質を引き出し、それを人生で生かす道を見つけてくれます。

私たちは往々にして、あまり意味のないことに捕らわれて毎日を過ごし、物を手に入れるために身をやつします。しかし、私たちがこの世を去った後、人が思い起こすのは、私たちが生前乗っていた車でも、着ていた服でも、肩書きでも、役職でもありません。より大きな資産や、より高い地位を得ようと払った努力のことでもありません。

結局のところ、私たちの人生の価値は、どれほど得たかではなく、どれほど与えたかによって判断されるのです。

ですから、苦しんでいる人から目を背けず、その苦しみを和らげてあげましょう。同情の言葉をかけるだけでなく、実際に何かしてあげましょう。社会から享受するだけでなく、社会に貢献しましょう。

2015-16年度の私たちのテーマは「世界へのプレゼントになろう」です。

地位や身の上にかかわらず、才能、知識、能力、努力、そして献身と熱意など、誰でも与えることのできる何かをもっているはずで。私たちは、ロータリーを通じて、これらを世界にプレゼントすることで、誰かの人生に、そして世界に、真の変化を起こすことができるはずで。

「人は手を閉じて生まれ、手を開いて世を去る」、また「己の才能は、天から授かったもの」と言われます。ですから私たちは、その授かりものをお返しするのです。

私たちは皆、この世に生まれ、何でもつかみ取ろうとしますが、この世を去るときにはすべてを残していきます。ロータリーを通じて私たちは、いつまでも続く、本物の何かを残すことができるでしょう。

私たちに与えられた時間は今です。この機会は二度と訪れるものではありません。

「世界へのプレゼントになろう」

2015-16年度国際ロータリー会長  
K. R. “ラビ” ラビンドラン



新しい年度がスタートいたしました。これまで、ガバナー補佐の皆様をはじめ、地区運営に携わっていただいた方々、そして地区内各地でロータリー活動にご尽力されたクラブ会長、幹事及び会員の皆様には多くのご協力を頂き、誠にありがとうございました。

さて、宮下正弘ガバナー年度の出発に備えて各クラブでは万全な準備が行われ、会員の皆さんも張り切っていることと思います。

2015-16年度のRIテーマは『世界へのプレゼントになろう』。そのテーマの根源にあるのは、ロータリー活動における基本事項の再追及でもあります。これまでに行われてきた奉仕活動は、経済不安など乗り越えて大きな成果を重ねてきた事でしょう。しかし今、社会の激しい変化に対応して新しい奉仕活動を追及することが、未来への課

題になっているのではないのでしょうか。これからのロータリー活動は、自ら変化に対応させていかなければならないと思います。過去の奉仕の形態にとらわれず、新しい目的をもって“奉仕”の創造をすること、それは多くの方々の心に“贈りもの”となって残ることでしょう。

近年の地区運営では、ガバナーが輩出された“ホストクラブ”だけではなく、その周辺クラブの協力も必要不可欠です。また、中心になるクラブとそれを補佐するクラブの調整も地区の力として大切なポイントです。どうぞ地区全体で一致団結し、協力してガバナーを応援してください。

略儀ではございますが、以上をもちまして、宮下正弘ガバナー年度へのエールとさせていただきます。



Endo Yoshinori

2014-15年度ガバナー 遠藤 芳徳

北区（大館・鹿角分区）伊藤 碩彦 大館 RC

今回、はからずも2度目のガバナー補佐をやらせて頂くことになりました。

当地区の最大の課題は会員増強、会員維持ですが、それは目的ではなく、ロータリーに魅力があれば結果として達成されるものだと思います。

ラビンドラン RI 会長のメッセージや宮下ガバナーの方針の下に、私自身としては特に職業奉仕活動を通じて、会員の事業の活性化に役立つロータリークラブのあり方を模索して参りたいと思っています。もしかしたらそれがロータリーの魅力を高めることになるかも知れません。

全国で一番人口減少の進んでいる秋田県にとって、各ロータリークラブに活気があって、それぞれの会員や企業が元気であることは大きな力になると信じます。

よろしくお願い申し上げます。

中区（秋田分区）高崎 恒夫 秋田港 RC

縁あって秋田港ロータリークラブに入会してから26年経ちました。よき仲間恵まれ、

楽しいクラブライフをエンジョイしていたところ、「港クラブからガバナー補佐を」というおはなしがありました。みんなで辞退しあった結果、意志薄弱な人間が推挙された形になりました。なってみますといういろいろ勉強させられることが多くて、これはこれで良い経験になりそうな気もしています。

今年度の国際ロータリー会長である、K. R. “ラビ” ラビンドランさんの Be a gift to the world 「世界へのプレゼントになろう」のテーマは老境に入りつつある身にはよく理解できます。「なにを残すか」を意識せざるを得ませんが、弱い自分には身を捨ててトラを養うようなことはできませんが、一年間2540地区のために時間を捧げていくつもりです。ロータリアンには尊敬すべき諸先輩や、若いのに良くできた人がたくさんいるので、交流しながら高めあっていきたいものだと思います。どうぞよろしく。

南区（大曲・仙北分区）松塚 榮 大曲 RC

宮下ガバナーが地区方針として取り上げている6項目のなかで

- 1、会員増強と会員維持  
共によるこび、共に悲しむ仲間として
- 2、地域に根差した社会奉仕活動の推進  
「ひとりひとりが人明り」に
- 3、地区による寄付の推進  
寄付する喜び・地域に生かす喜びを

上記3項目について、各クラブへの訪問時に会員の皆様との話し合いの中で、他クラブにて取り組んでいる各項目ごとに対する様々な取組方法等をお伝えすることが出来る様な知識を少しでも持ちながら取り組んでいきたいと考えております。……が。とにかく、この一年間担当するクラブと会員の皆様の力をお借りしながら一所懸命にやっていきたいと思っています。

北区（大館・鹿角分区）飯坂 光成 ニツ井 RC

この度、宮下正弘ガバナー（2015年～2016年）指導のもと、各研修を終え7月1日より1年間、ガバナー補佐を務めさせていただく事となりました。今改めて大役の職務に身の引き締まる思いでいます。

ガバナー補佐は「答えを探す方法を知っておくこと」が重要をされております。そのため地区役員の方々の協力を頂きながら、各クラブと地区の架け橋になればと思います。その結果、RI テーマと地区テーマを基盤としながら、宮下ガバナーの掲げた6つの地区方針を実行できる様、微力ながら努力していきたいと思っています。

最後に、能代・男鹿分区の皆様におかれましてはクラブ訪問の際、寛容の精神と思いやりの心で接していただきたく、就任の挨拶とさせていただきます。

中区（本荘由利分区）備前 鉄男 本荘 RC

私は現在職業分類『住宅機器販売』で本荘ロータリークラブに所属しております。入会年度が1978年随分の年月は経過しましたがロータリークラブからは、いろいろな面での御指導を頂きながら、何もお返しお礼ができていなかったことなど思い浮かんでいます。

この度ガバナー補佐を拝領頂くにあたって宮下正弘ガバナー様江島清彦地区幹事様のご指導を仰ぎながら、分区全員で地区方針である①会員増強と会員維持②地区に根差した社会方針の推進③地区による寄付の推進④経済活性化プロジェクトの継続⑤広報PR⑥ロータリーを学び地区の今までを振り返る。を徹底した理解と実践を目指します。この中でも①年間一名の会員純増、⑥地域会員が自信を持ってロータリークラブの「意義」と「目的」とを地域で紹介できるように努力します。

南区（横手・湯沢分区）平田 洸一 横手 RC

昭和58年入会以来ロータリー歴が32年になりました。当クラブには若い会員も大分多くなり、そろそろゆっくりロータリーを楽しもうといたところでした。補佐ということになり大変な役を引き受けたものだと思います。これから一年宮下ガバナーの方針をしっかりと受けとめロータリーの友情をそこなうことなく、あまり固いきついきびしいことなく補佐として努めたいものです。各クラブにはガバナーの考え方を伝えることはもちろんですが、それぞれのクラブの独自の意見を考えをとり入れ伝えたいものだと思います。会員増強退会防止はもちろんですが、ロータリーに入って良かったと思えるような指導を考えております。超私の奉仕、四つのテストとすばらしいスローガンがあります。これを下に一生懸命勤めます。皆様のご協力よろしく。

ガバナー・ガバナーエレクト・ガバナー補佐・地区役員・委員会委員長 ご紹介



宮下 正弘  
秋田 RC  
ガバナー



平澤 孝夫  
秋田東 RC  
ガバナーエレクト



伊藤 碩彦  
大館 RC  
大館・鹿角分区ガバナー補佐



飯坂 光成  
二ツ井 RC  
能代・男鹿分区ガバナー補佐



高崎 恒夫  
秋田港 RC  
秋田分区ガバナー補佐



備前 鉄男  
本荘 RC  
本荘・由利分区ガバナー補佐



松塚 榮  
大曲 RC  
大曲・仙北分区ガバナー補佐



平田 洸一  
横手 RC  
横手・湯沢分区ガバナー補佐



江畠 清彦  
秋田 RC  
地区幹事



堀井 照重  
秋田 RC  
地区財務委員長



佐々木 攻  
秋田 RC  
地区会計長



桑原 透  
秋田 RC  
会員拡大増強委員長



佐藤 力  
大曲 RC  
広報委員長



斎藤 秀光  
秋田東 RC  
職業奉仕委員長



竹谷 繁  
秋田 RC  
社会奉仕委員長



佐藤 裕之  
秋田 RC  
国際奉仕委員長



佐藤 勤一  
能代南 RC  
インターア外・ローターア外委員長



矢田 正康  
秋田北 RC  
青少年交換プログラム委員長



佐野 公彦  
秋田北 RC  
ロータリーの友委員長



鎌田 壽  
秋田 RC  
地区大会委員長・地区副幹事



玉木 修  
秋田西 RC  
ロータリー財団委員長・バストガバナー



阿部 大助  
秋田中央 RC  
ロータリー米山記念奨学委員長



児玉 健一  
秋田 RC  
RI 国際大会推進委員長

## 新会員のご紹介

ようこそロータリーへ！

秋田中央ロータリークラブ

高村 嘉憲 Takamura Yoshinori

職業分類／ 司法書士

勤務先／ 高村嘉憲司法書士・行政書士事務所

役職／ 所長

入会年月日／ 2015年6月19日

紹介者／ 木村 昌永



大曲中央ロータリークラブ

吉川 壮 Kikkawa So

職業分類／ 保育

勤務先／ 社会福祉法人大仙ファミリーサポート

役職／ 事務長

入会年月日／ 2015年7月1日

紹介者／ 小池 澄夫



## 2015年6月20日(土) 横手南ロータリークラブ 創立50周年記念式典



横手南ロータリークラブ(会員62名)の創立50周年記念式典が6月20日横手市の松與会館で開催された。式典には友好クラブである台湾台北市華陽扶輪社から30名が参加したのをはじめ、春日部ロータリークラブ、2540地区の各クラブから260人が出席し、半世紀の節目を祝った。

横手南ロータリークラブは、1965年6月に横手ロータリークラブをスポンサークラブとしてチャーターメンバー29人で発足し現在も5名が会員として活動しているおり、青少年交換留学生の招聘や、クリーンアップ・交通安全運動、横手川の水環境保全などの奉仕活動を積極的に展開している。

式典で打川 敦会長は「お互いに協調融和して、クラブを盛り上げるという創立時の精神を受け継ぎ、新たな50年という未来に向かってさらに飛躍を期したい」と挨拶した。

横手南ロータリークラブは、50周年記念文化事業として今年2月に地元音楽家3名によるクラシック演奏会「横手かまくら音楽祭」を開催。式典では、記念寄付として横手公園の整備資金50万円を横手市長に、今春開校した横手市の小学校2校の教育備品購入資金30万円を横手市教育長に目録を寄贈した。

## PHF、MPHF、米山功労者紹介

花輪ロータリークラブ

渡部 正士 Watanabe Masashi

表彰分類／ PHF 1回目

会長／ 1995-1996年度

2013-2014年度

入会年月日／ 1984年1月1日

その他／ 連続100%出席10年表彰  
第1回米山功労者



## ロータリーの友 7月号の情報

ロータリーの友7月号に第2540地区の記事が掲載されております。



### 試百難

第2540地区  
みやしたまさひろ  
宮下正弘ガバナー  
(秋田RC)



写真中央が宮下ガバナー

「試百難」とは、「上田高校の心」として、戦国時代の真田武士の英雄の心意気を受け継ぎ、高い望みを目標に掲げ、揺るぎのない誇りを持って待ち受ける課題に挑戦し、粘り強く克服していく強い決意を表すものです。宮下氏は信州上田に生を受け、俊英の集まる上田高校で学び、この志を胸に医師を目指し、今、秋田で名医として活躍しています。

秋田赤十字病院院長を長く務め、その上、芸術文化の素養も深く、絵画、音楽と万人もうらやむ才能を持っています。秋田市の文化団体から会長を望まれながら、「副会長ならば」とは、人柄の表れ。当クラブが徐々に輩出する学識、人柄、人品すべからく高質な能力を兼ね備えたガバナーです。ロータリーでの活動は真田武士さながら、異論を乗り越え、当地区の「ネパール医療支援」は着実に諸先輩方の意思を継承しています。当事業が持続し国際的に評価されているのも、ひとえに宮下氏の指導力と実行力がなせる業であることは、当地区であれば周知のことです。

今話題のフランスの若き経済学者トマ・ピケティ氏の著書『21世紀の資本』では、持てる者と持てざる者との格差拡大を膨大な資料とデータで解析しています。一方、ロータリーの発生は、商売人のありようとして、社会を鑑に、儲けの源泉であるお客を大事にし、「正しく商う」とは何かを自らに問い掛けながら、仲間のロータリアンとより良い社会を築いていこうと決意したことにあります。宮下ガバナーの活躍に、今、世界中が注目し期待しています!!

秋田RC 那波三郎右衛門

職業分類－介護保健施設 1942年1月22日生。(社福)賛成福祉会 介護老人保健施設 山盛苑施設長。97年秋田RC入会。ガバナー補佐。地区世界社会奉仕委員長。MPHF。



ロータリーレート  
2015年7月のレート  
1ドル **124円**



## 例会変更・クラブ活動予定情報

### ◆7月の例会変更情報

#### ■大館中央 RC

日程・・・7月20日(月) 休会  
事由・・・海の日の為

#### ■秋田中央 RC

日程・・・変更前：7月24日(金)12:30～13:30  
変更後：7月24日(金)18:30～20:30  
会場・・・ホテルメトロポリタン秋田  
事由・・・創立24周年記念納涼例会の為

#### ■花輪 RC

日程・・・変更前：7月28日(火)18:00～  
変更後：7月26日(日)17:30～  
会場・・・変更前：鹿角パークホテル  
変更後：ホテル鹿角前路上(移動例会)  
事由・・・十和田秋田 RC の行事に参加の為

### ◆8月の例会変更情報

#### ■秋田中央 RC

日程・・・8月14日(金)休会  
事由・・・特別休会の為



## 文庫通信 334号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### デジタル化されたロータリー文献(2)

- ◎「私のロータリー」  
森三郎 1992 198p
- ◎「日常語で、ロータリー」  
森三郎 1995 20p
- ◎「『今 ロータリーが忘れていた事』  
関西ロータリー研究会第55回例会記録」  
森三郎：講師 1999 112p
- ◎「アイウエオ!!-ロータリーの心と人生のイロハ-」  
小林博 [2002] [4p]

- ◎「ロータリーとは何か(ロータリー入門)」  
松崎勝一 2005 11p
- ◎「ロータリーの歴史<75年の歩みを振り返る>」  
梶原景親 福岡西 R.C.1980 53p
- ◎「ロータリーの奉仕哲学」  
梶原景親 福岡西 R.C. 1983 40p
- ◎「ロータリー讀本」  
梶原景親 福岡西 R.C. 1984 143p
- ◎「ロータリアンの特典と義務について 改訂版」  
麻植晃 徳島南 R.C.1998 18p
- ◎「会員増強について考える」  
鳴海淳郎 [2000] 8p  
[上記申込先：ロータリー文庫]

### ロータリー文庫

〒105-0011  
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階  
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506  
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
●開館=午前10時～午後5時  
●休館=土・日・祝祭日

### 巻頭の言葉

秋田のシンボルは何と言ってもナマハゲ。これから毎号私のスケッチで県内の風景を紹介していきます。宮下ガバナー